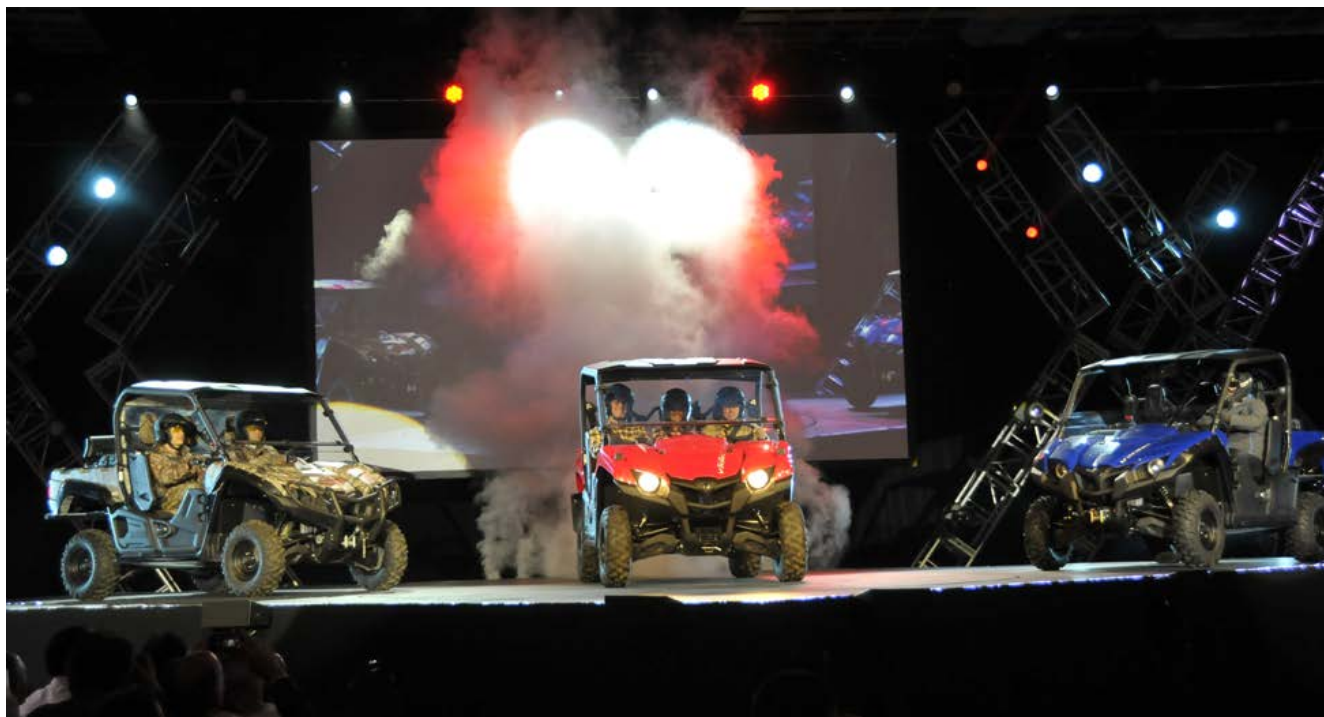


# 2013年12月期 第2四半期決算説明会



米国での「バイキング」発表

**ヤマハ発動機株式会社**  
2013年8月6日

## 本日ご説明する内容

# 2013年12月期 第2四半期決算

- **概要説明**                      代表取締役社長                      柳 弘之
- **事業別説明**                      取締役                                      篠崎 幸造

- **業績予想について**

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動などが含まれます。

# 概要説明

【通期目標】 前年比、増収・増益を目指す。

先進国事業の収益改善・新興国二輪車の規模回復・その他事業の拡大

【上期業績】 前年比、売上高11%増・営業利益45%増

先進国事業 黒字化・新興国二輪車 2Q前年上回る・その他事業 増収

(億円)	12年上期	13年上期
<b>売上高</b>	6,322	7,028
<b>営業利益</b>	208	302
<b>営業利益率</b>	3.3%	4.3%
<b>経常利益</b>	241	306
<b>当期純利益</b>	145	205
<b>為替レート</b> ( \$ / € )	80円/103円	96円/126円

## 先進国事業の収益改善

- マリン販売好調・為替効果等により、収益改善進む。
- 二輪車の新商品投入進み、来期以降の規模・収益改善へ。

## 新興国二輪車の規模回復

- 景気鈍化・金融引締めの影響により、踊り場状態続く。
- 商品競争力、ブランディング（プロモ・販売網等）強化。

## その他事業の拡大

- RV：新商品投入進み、来期以降の規模・収益復活へ。
- SPV・特機：新商品投入・顧客開拓により、規模拡大進む。
- 新規分野の開発・中期レンジでの導入準備進む。

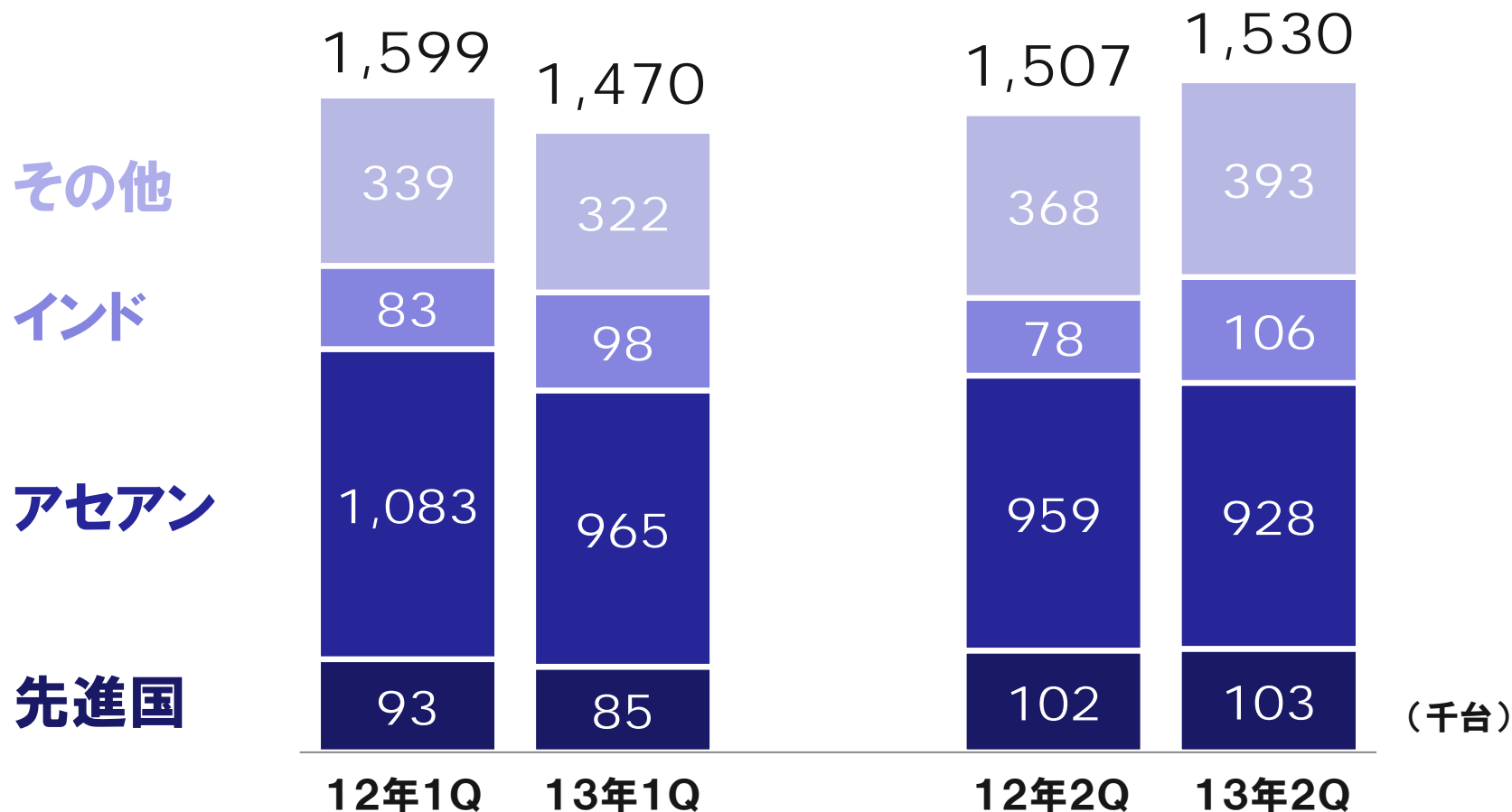
## 構造改革の取り組み

- 国内工場再編成・コストダウン、欧州事業体制改革進む。

# 二輪車事業：全体販売状況

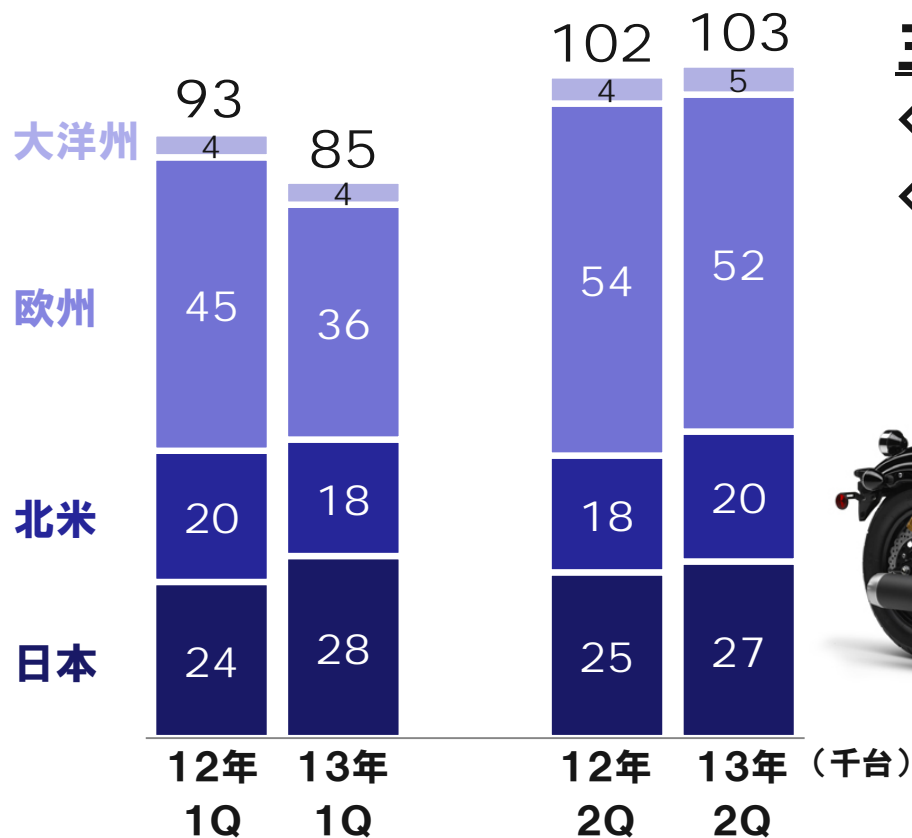
- 2Qに入り、先進国・新興国ともに前年上回る。
- 通期予想：総数640万台・前年比+31万台（当初予想比△55万台）  
特に、新興国市場の需要鈍化による。

## 出荷台数



- 日本：新商品投入・限定車導入等により販売増加（前年比111%）。
- 北米：新商品投入・小売促進策等により販売回復基調（前年比 1Q:89%、2Q:111%）。
- 欧州：景気低迷続き販売減少（前年比89%）、3Q以降 新商品投入。

## 出荷台数



## 主な取り組み

- ◇高性能・軽量・低燃費＋デザイン戦略
- ◇ブランディング（プロモ・販売網）強化



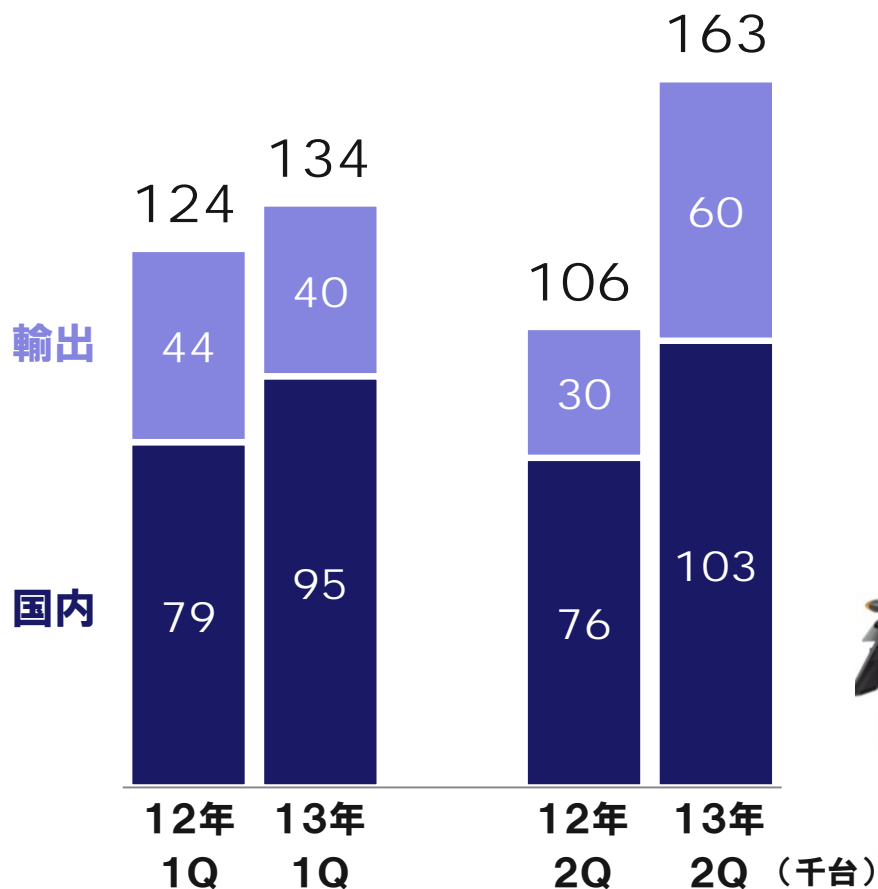
BOLT



MT-09

- 総需要は伸長鈍化（前年比99%）。
- 当社出荷は大幅伸長（前年比 国内:127%、輸出:134%）。

## 出荷台数



## 主な取り組み

- ◇商品競争力強化
  - ・デラックス：ブランド力強化
  - ・スクーター：ラインナップ拡充
- ◇プロモーション活動
  - ・1,000万人試乗会等
- ◇市場適合設計（コストダウン）加速



FZS

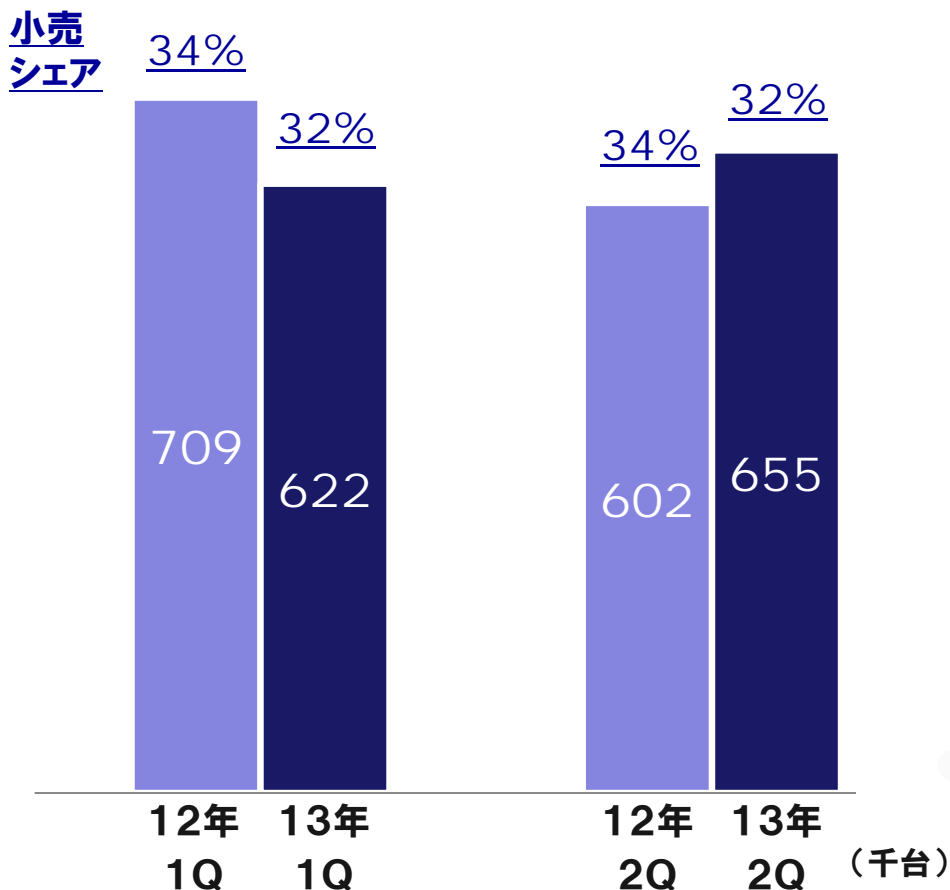


RAY



- 総需要は前年比増（392万台・前年比106%）。
- 当社出荷は外島需要の低迷により微減（128万台・前年比97%）。
- 年間予想は総需要720万台（102%）・当社出荷255万台（105%）。

## 出荷台数



## 主な取り組み

- ◇ 現地開発・市場密着型モデル投入
- ◇ プロモーション活動
  - ・ヤマハモーターショー（1,000回）
  - ・将来顧客づくり（Kids YSRS）
- ◇ 販売網（CCS）、CRM強化



V-IXION

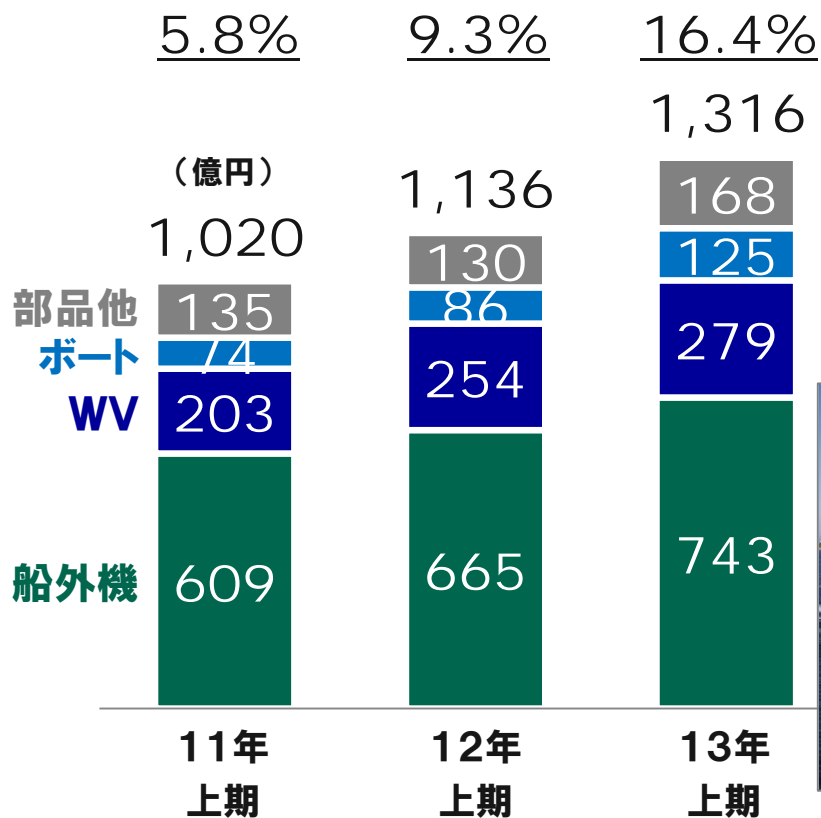


X RIDE

増収・増益、特に営業利益率の改善進む。

- 船外機：新商品投入（200馬力）、米国での大型モデル販売増加。
- ボート：国内市場活性化、特に小型・中型モデル販売増加。
- WV：販売堅調、前年以上の水準。

## 売上高・営業利益率



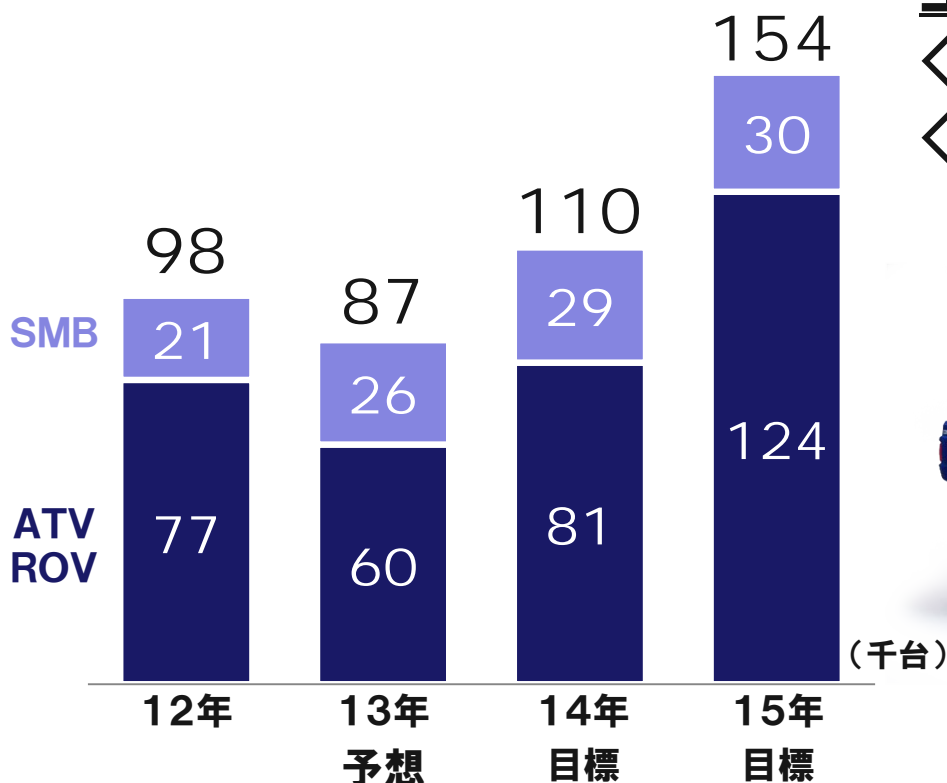
## 新興国市場の取り組み

- ◇ロシア：船外機販売拡大（3.8万台・122%）  
10万台を目指してサブ販売網拡大
- ◇ブラジル：船外機販売拡大（2万台・106%）
- ◇中国：漁船市場進出（想定市場規模70万台）



- ROV: 新商品投入(7月)、  
今後5年間連続した商品投入による強力ラインナップ復活へ。
- SMB: 他社OEMによる北米市場への新商品投入(10月)、  
成長続くロシア市場での販売規模拡大(前年比126%)。

## 出荷台数



## 主な取り組み

- ◇高性能・高信頼性のラインナップ開発
- ◇事業コストの\$化推進



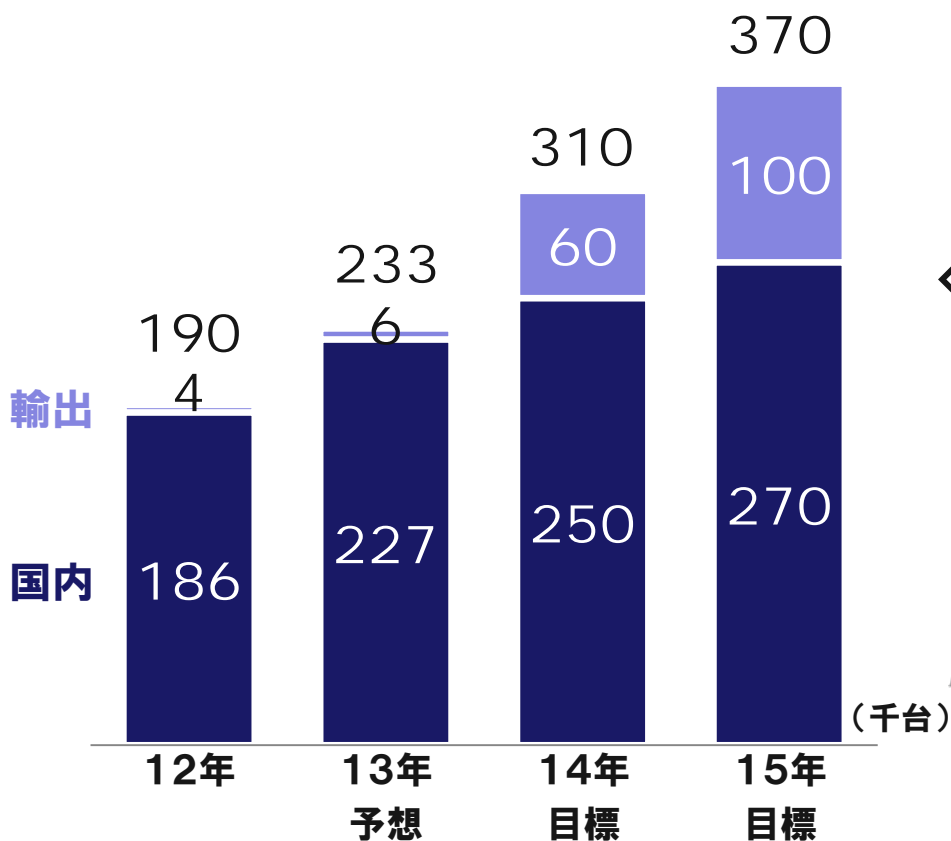
VIKING



VK540

- 国内：トリプルセンサー投入（2月）・需要開拓等により、前年比122%。
- 欧州：事業提携先3社（+数社獲得見込み）、来期本格拡大へ。
- 2015年 グローバル37万台・最強ポジションを目指す。

## 出荷台数



## 主な取り組み

### ◇商品競争力強化

- ・最小最軽量の新パワーユニット開発
- ・バッテリーのグローバル調達拡大
- ・大容量バッテリー・急速充電器導入

### ◇国内外における新しい顧客開拓



国内モデル



欧州 E・Kit



# 2013年（年間）経営業績予想

- 修正予想：前年比、売上高20%増・営業利益196%増
- 配当：年間想定20円、中間10円実施。

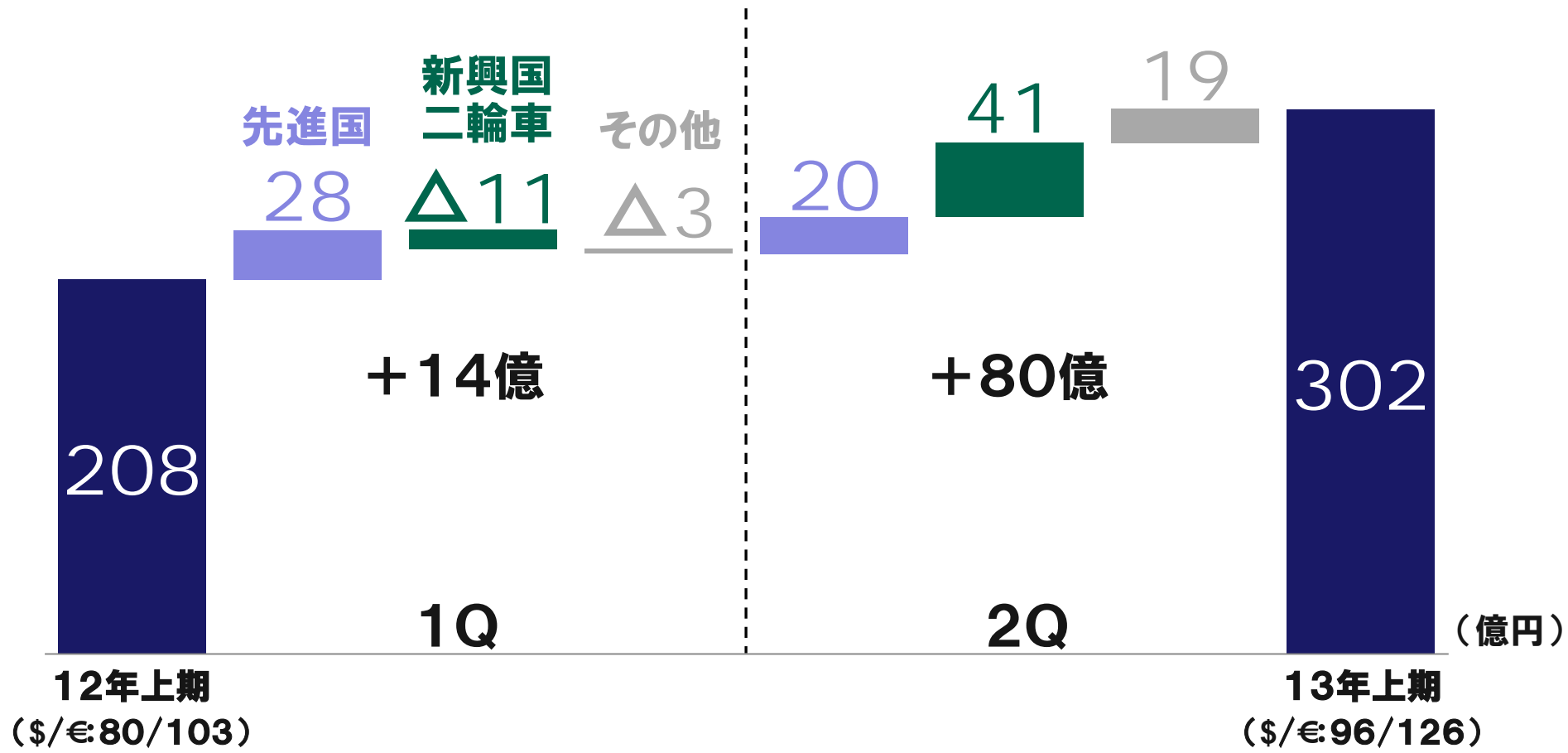
（億円）	12年	13年 修正予想 （8/6）	13年 当初予想 （2/14）
<b>売上高</b>	12,077	14,500	14,000
<b>営業利益</b>	186	550	500
<b>営業利益率</b>	1.5%	3.8%	3.6%
<b>経常利益</b>	273	590	520
<b>当期純利益</b>	75	340	280
<b>為替レート</b> （\$ / €）	80円/103円	95円/125円	87円/115円
<b>配当金</b>	10円	20円	17円

# 事業別説明

# 2013年（上期） 営業利益変化要因（対前年）

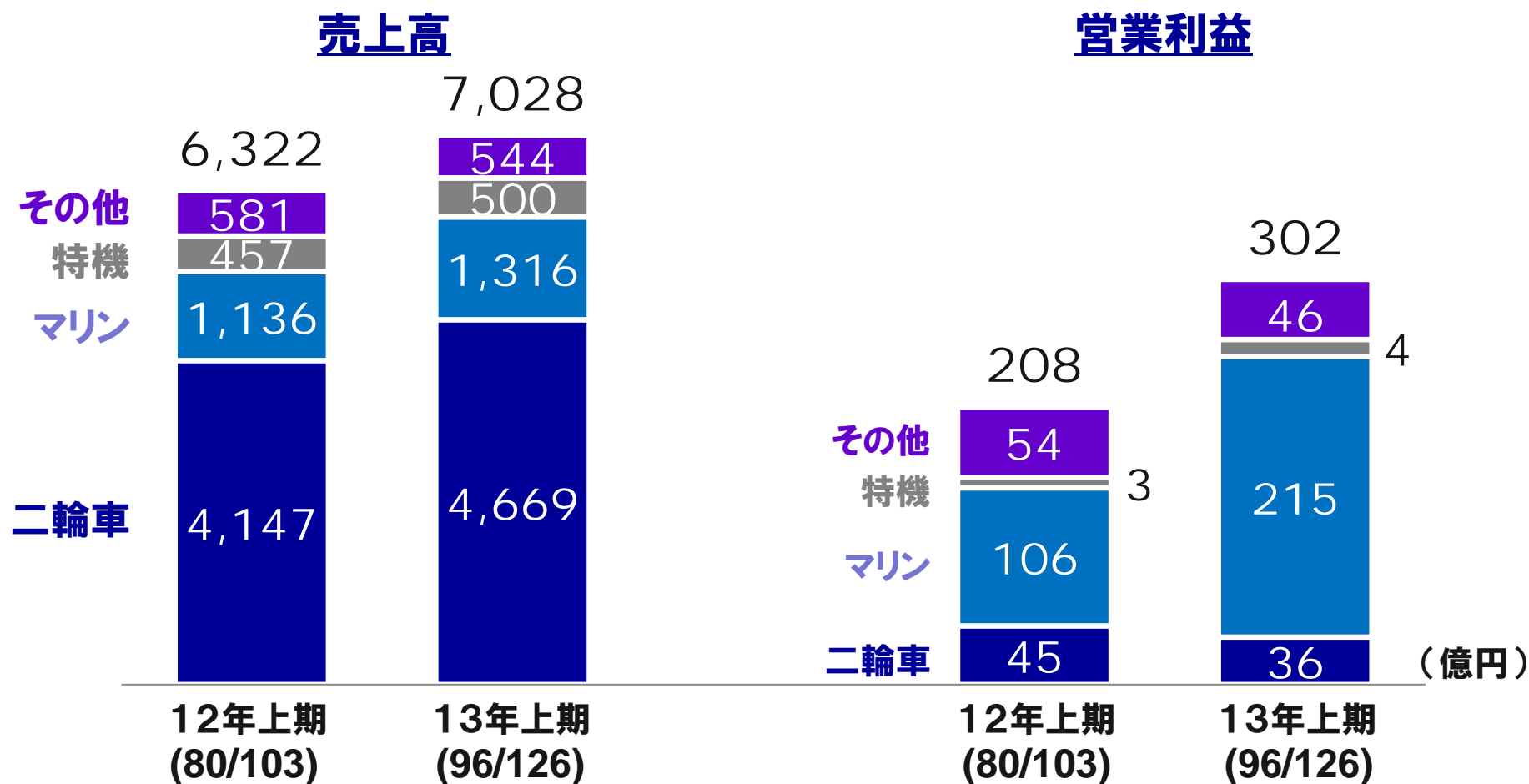


- 先進国事業：マリン販売好調、為替効果等により増益。
- 新興国二輪車：アセアン台数減少も、増収増益。
- その他事業：ロシア・ブラジル向けマリン増益。



# 2013年（上期）事業別売上高・営業利益

- 二輪車：新興国は増益、先進国は減益。  
（開発費・販促費の増加に加え、欧州構造改革費用による）
- マリン：米国船外機の大型モデル販売好調等により大幅増益。



※ その他：産業用機械・ロボット含む



## ■11年の営業利益水準に回復。EPS97円に改善。

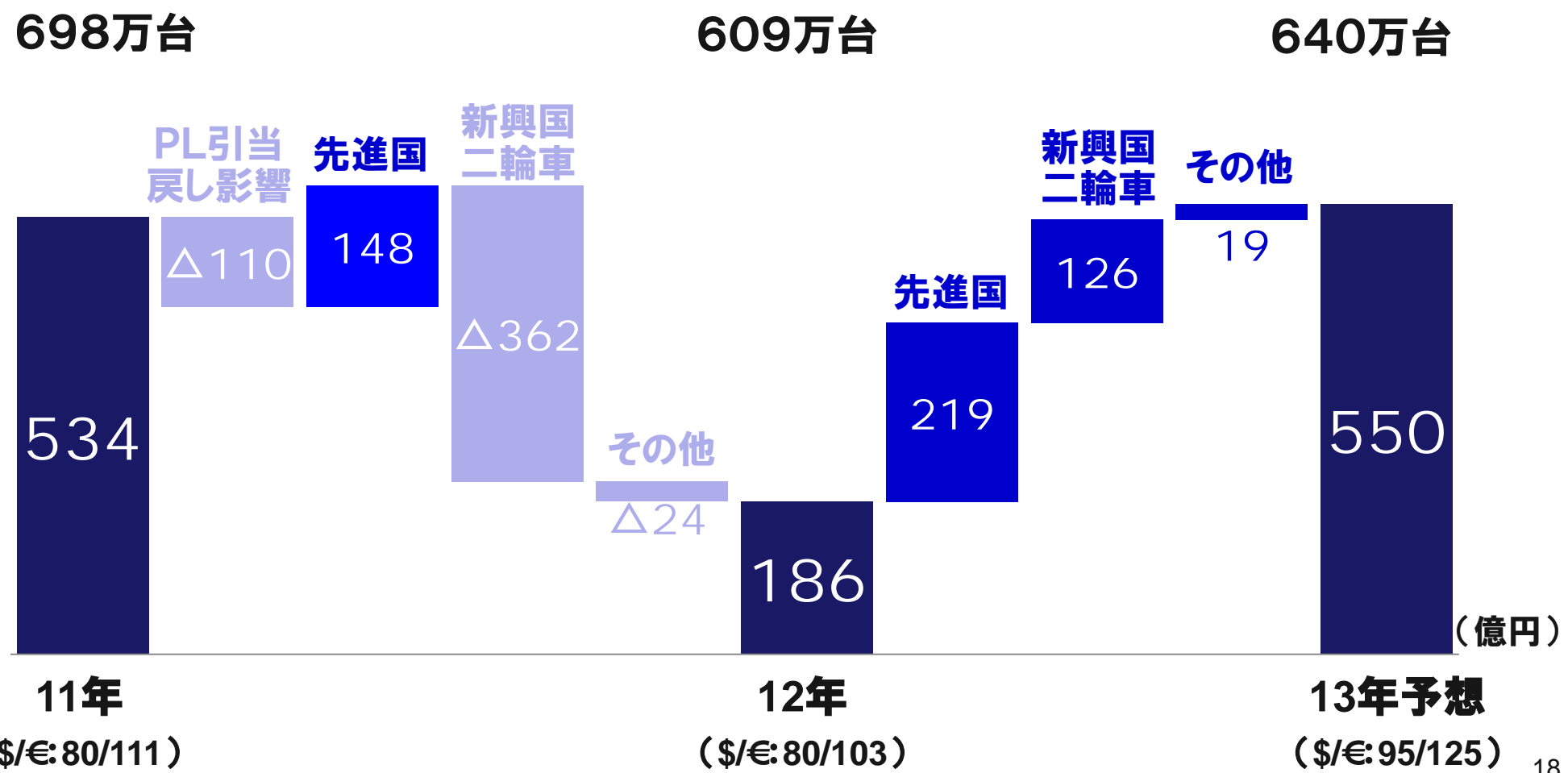
（億円）	11年	12年	13年 修正予想 （8/6）
<b>売上高</b>	12,762	12,077	14,500
<b>営業利益</b>	534	186	550
<b>営業利益率</b>	4.2%	1.5%	3.8%
<b>経常利益</b>	635	273	590
<b>当期純利益</b>	270	75	340
<b>為替レート （\$ / €）</b>	80円/111円	80円/103円	95円/125円
<b>D/Eレシオ （NET）</b>	0.5	0.7	0.6
<b>EPS</b>	77円	21円	97円

# 2013年（年間） 営業利益変化要因（対前年）



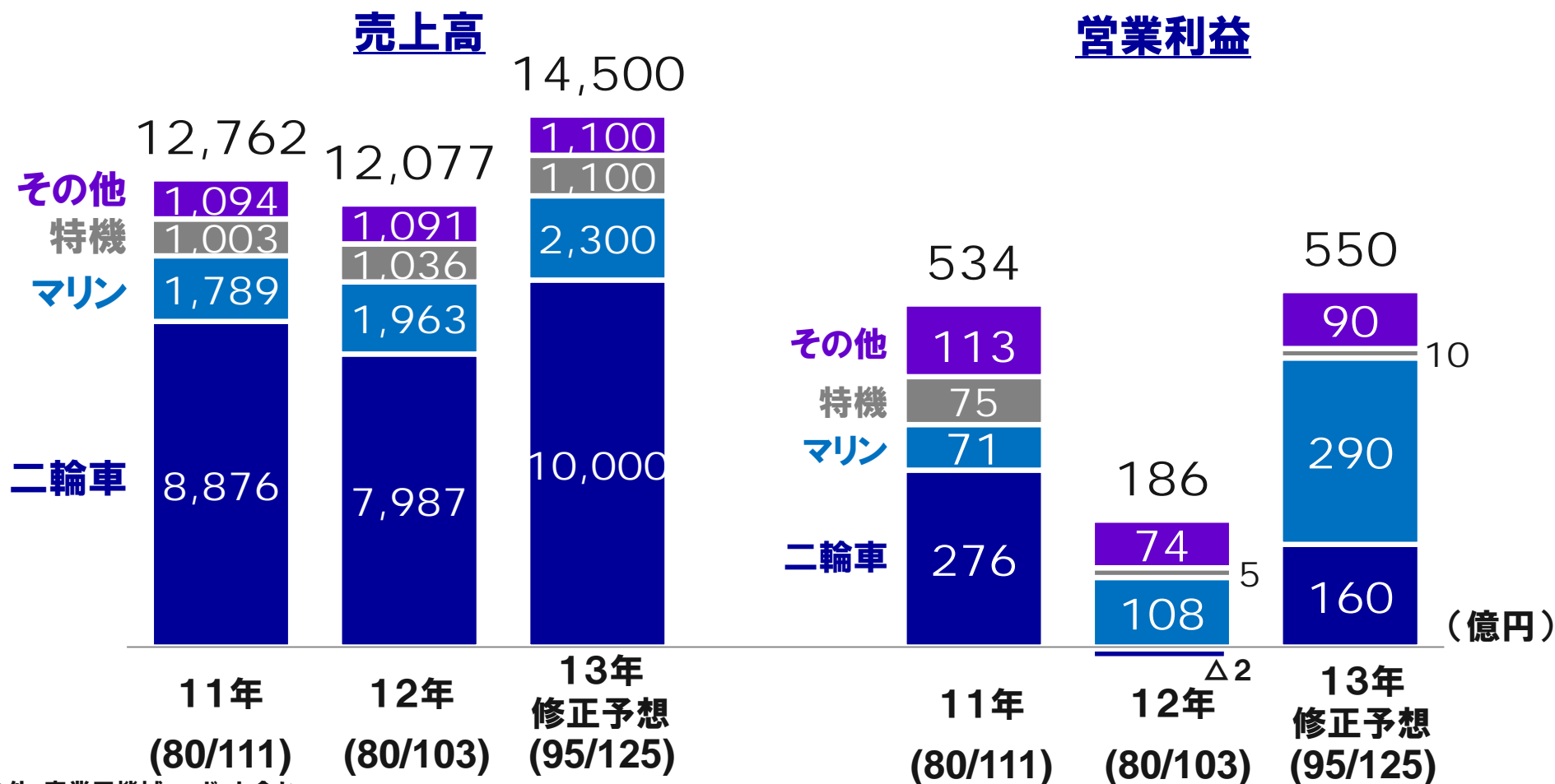
- 先進国：マリン販売増や為替効果で改善し、黒字化見込む。
- 新興国二輪車：規模増・収益性改善により、増益見込む。

## 二輪車販売台数



# 2013年（年間）事業別売上高・営業利益

- 二輪車：継続的な収益改善（規模回復＋コストダウン）を進める。
- マリン：更なる増収・増益により、売上高3,000億円を目指す。
- 特機：新商品投入を進め、事業復活へ。



※ その他：産業用機械・ロボット含む



**YAMAHA**

*Revs Your Heart*

# 総需要・当社出荷台数



台数単位:千台

	総需要(当社推定)	
	12年実績	13年予想
日本	442	466
北米	502	499
欧州	1,744	1,638
インドネシア	7,064	7,200
タイ	2,129	2,100
インド	13,806	14,000
ベトナム	3,109	3,116
台湾	628	660
中国	12,630	11,620
その他	4,537	4,477
アジア計	43,903	43,172
ブラジル	1,654	1,663
その他	7,244	8,177
その他計	8,897	9,840
<b>二輪車計</b>	<b>55,490</b>	<b>55,616</b>
<b>船外機</b>	<b>759</b>	<b>777</b>
<b>ATV</b>	<b>516</b>	<b>495</b>
<b>電動アシスト自転車(日本)</b>	<b>386</b>	<b>435</b>

	ヤマハ発動機 出荷台数			
	10年実績	11年実績	12年実績	13年予想
日本	99	101	94	104
北米	53	64	71	76
欧州	227	185	165	168
インドネシア	3,326	3,136	2,423	2,550
タイ	506	473	550	420
インド	259	343	348	500
ベトナム	776	988	922	920
台湾	173	183	179	193
中国	700	608	492	520
その他	343	327	313	336
アジア計	6,084	6,059	5,228	5,439
ブラジル	227	242	164	194
その他	271	331	369	425
その他計	497	573	533	619
<b>二輪車計</b>	<b>6,960</b>	<b>6,982</b>	<b>6,090</b>	<b>6,405</b>
<b>船外機</b>	<b>272</b>	<b>303</b>	<b>322</b>	<b>311</b>
<b>ATV</b>	<b>81</b>	<b>75</b>	<b>70</b>	<b>52</b>
<b>PAS(完成車)</b>	<b>93</b>	<b>105</b>	<b>104</b>	<b>130</b>

# 2013年（上期・年間） 事業別売上高・営業利益



## 売上高（億円）

	上期			年間		
	12年	13年	対前年	12年	13年予想	対前年
二輪車	4,147	4,669	522	7,987	10,000	2,013
マリン	1,136	1,316	180	1,963	2,300	337
特機	457	500	43	1,036	1,100	64
産業用機械・ロボット	175	156	△19	308	340	32
その他	407	388	△19	783	760	△23
<b>合計</b>	<b>6,322</b>	<b>7,028</b>	<b>706</b>	<b>12,077</b>	<b>14,500</b>	<b>2,423</b>

## 営業利益（億円）

二輪車	45	36	△9	△2	160	162
マリン	106	215	110	108	290	182
特機	3	4	2	5	10	5
産業用機械・ロボット	31	16	△15	38	50	12
その他	23	30	6	36	40	4
<b>合計</b>	<b>208</b>	<b>302</b>	<b>94</b>	<b>186</b>	<b>550</b>	<b>364</b>

## 営業利益率（％）

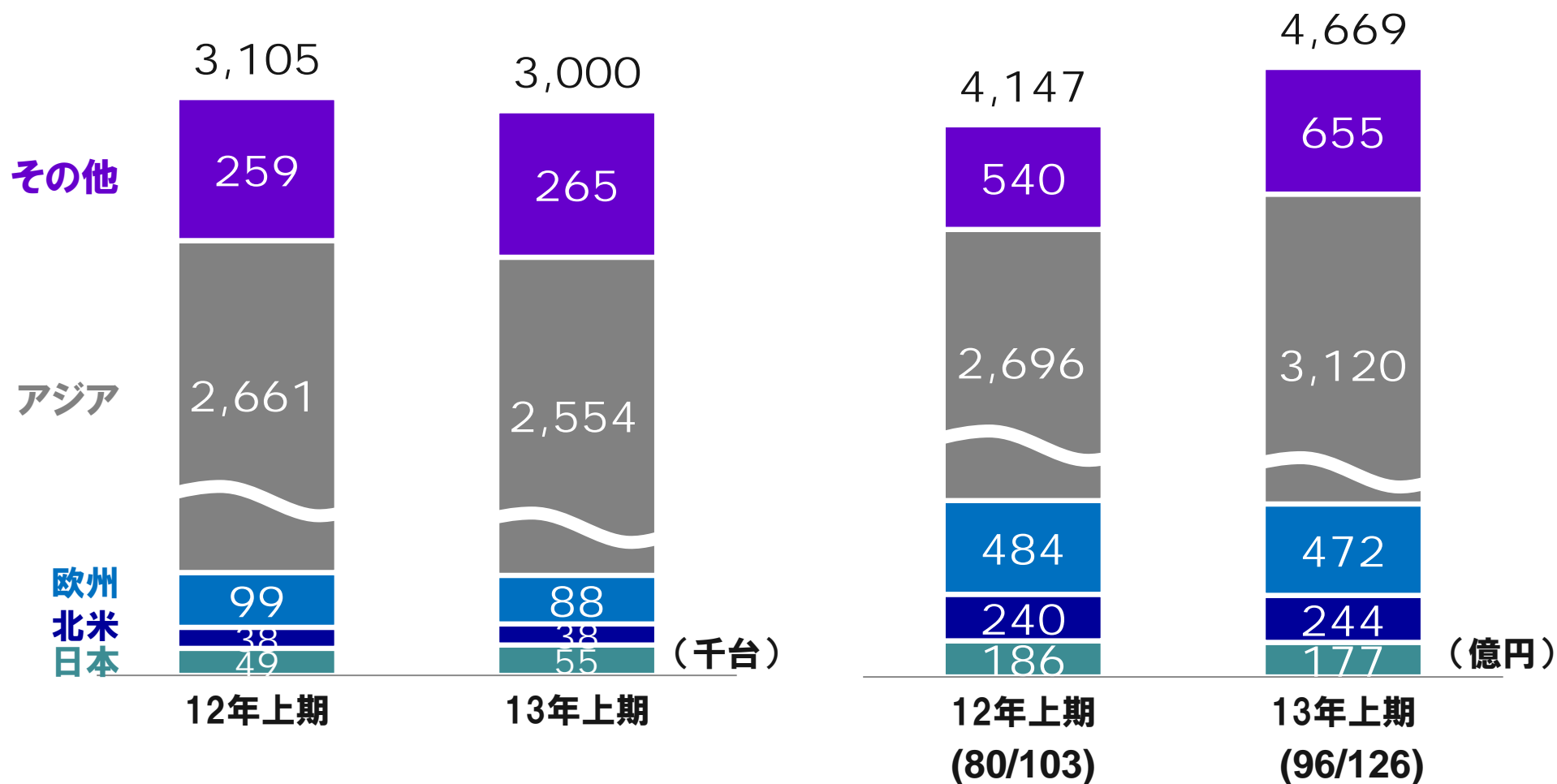
二輪車	1.1%	0.8%	△0.3%	0.0%	1.6%	1.6%
マリン	9.3	16.4	7.1	5.5	12.6	7.1
特機	0.6	0.9	0.3	0.5	0.9	0.4
産業用機械・ロボット	17.8	10.4	△7.4	12.4	14.7	2.3
その他	5.7	7.7	1.9	4.6	5.3	0.7
<b>合計</b>	<b>3.3</b>	<b>4.3</b>	<b>1.0</b>	<b>1.5</b>	<b>3.8</b>	<b>2.3</b>

# 2013年（上期） 二輪車 販売台数・売上高



## 出荷台数

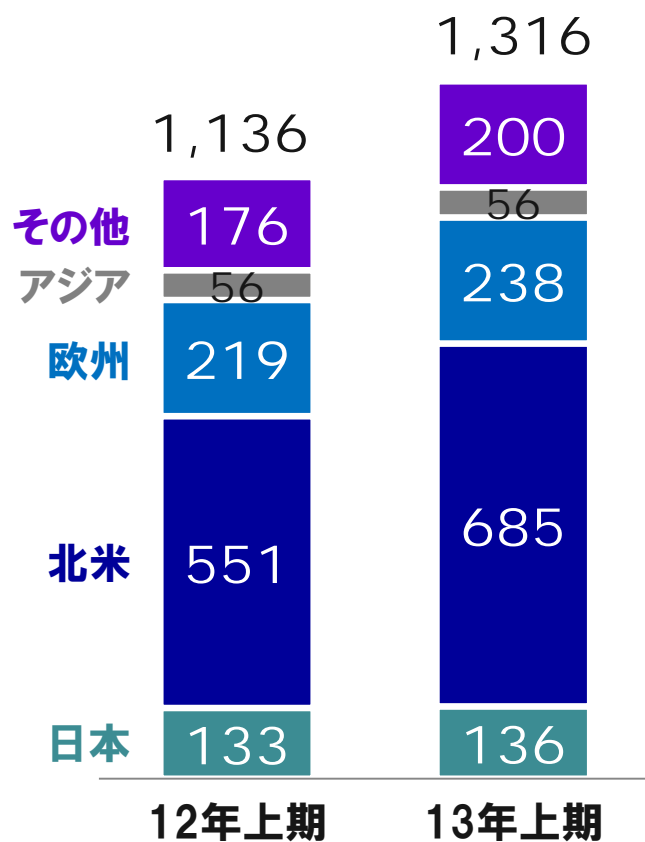
## 売上高



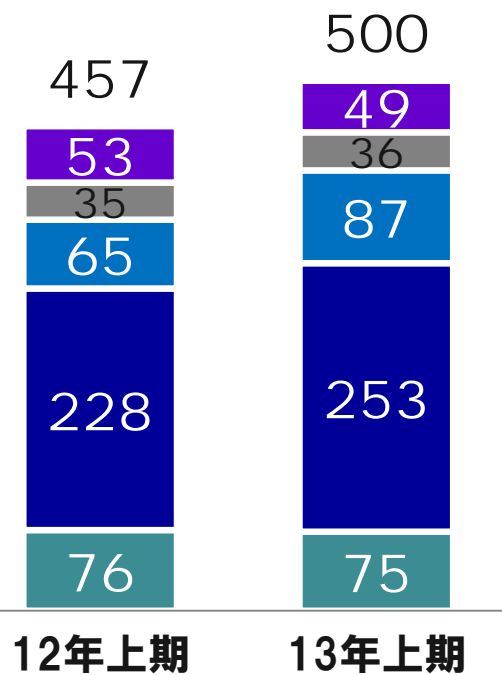
# 2013年（上期） マリン・特機・その他 売上高



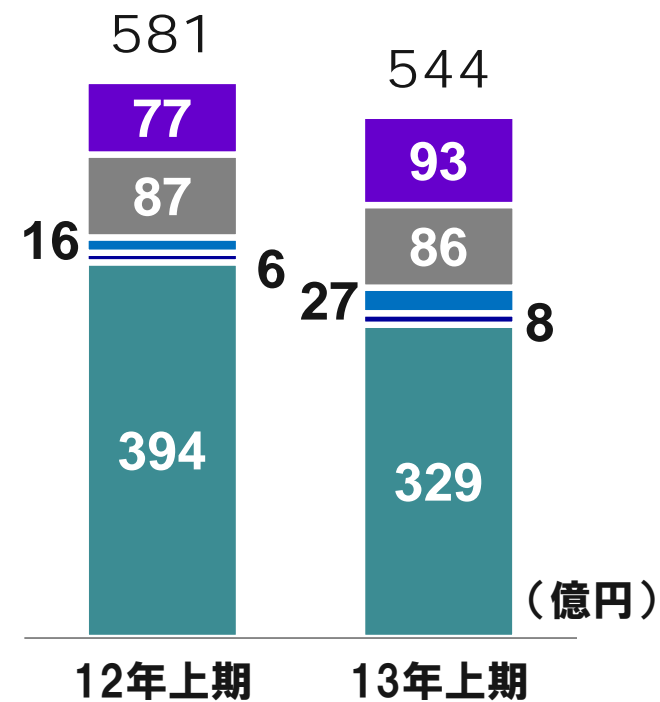
## マリン



## 特機



## その他

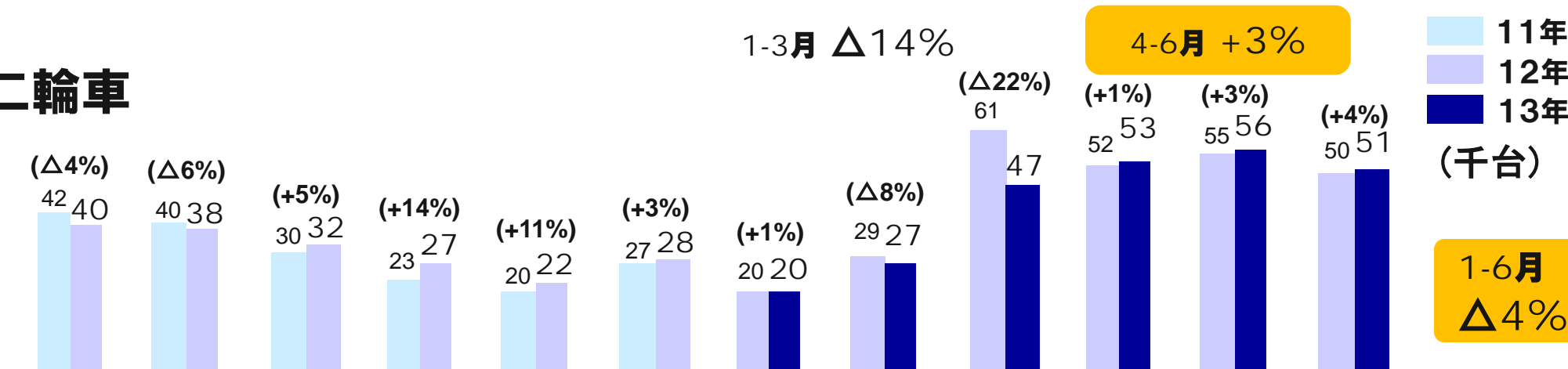


※ その他：産業用機械・ロボット含む

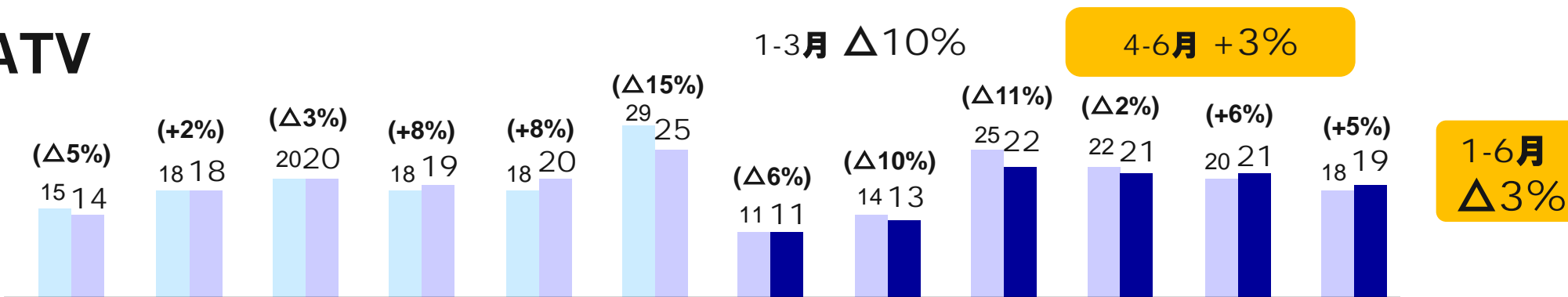


# 米国主要商品 月別総需要推移

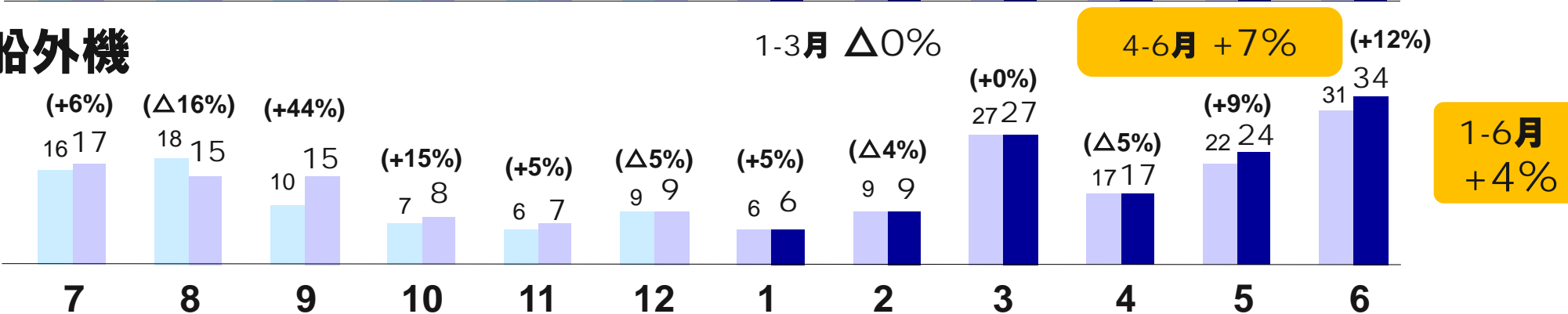
## 二輪車



## ATV



## 船外機



## 小売台数 (千台)

	2Q (3ヶ月)			上期		
	12年	実績	対前年	12年	実績	対前年
二輪車	23	23	+1%	37	33	△9%
ATV	10	10	△4%	18	17	△7%
船外機	23	25	+7%	40	43	+7%

## 出荷台数 (千台)

	2Q (3ヶ月)			上期		
	12年	実績	対前年	12年	実績	対前年
二輪車	16	17	+10%	33	32	△2%
ATV	6	6	+1%	14	12	△13%
船外機	17	19	+12%	38	40	+6%

# 2013年（上期・年間）為替影響（対前年）

（億円）	13年上期			
	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	126	51	0	177
粗利益の換算影響（海外子会社）	30	18	100	148
販管費の換算影響（海外子会社）	△30	△24	△77	△130
<b>営業利益への為替影響</b>	<b>126</b>	<b>45</b>	<b>24</b>	<b>195</b>

13年年間予想			
US\$	EURO	その他	合計
248	96	0	344
54	35	259	348
△54	△47	△198	△299
<b>248</b>	<b>84</b>	<b>61</b>	<b>393</b>

## 為替感応度

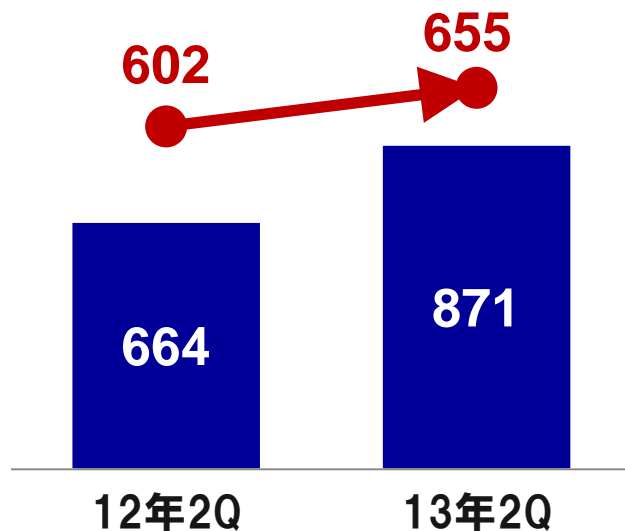
1円の変動が営業利益  
に与える影響額

US\$ EURO  
8億円 2億円

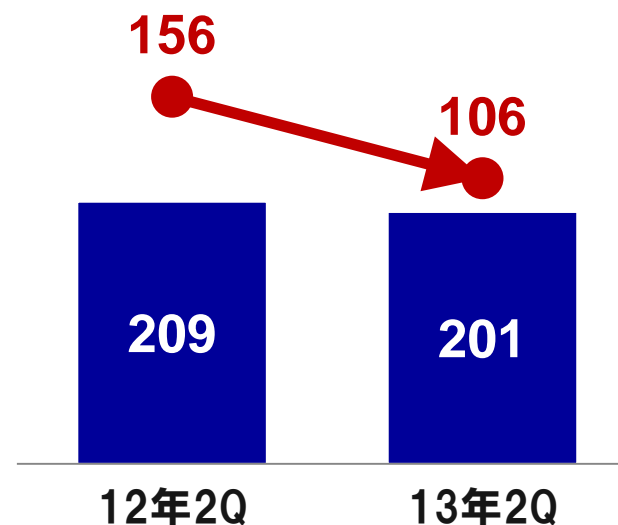
US\$ EURO  
16億円 4億円

# 2013年（2Q）アジア主要国 販売状況

## インドネシア（YIMM）



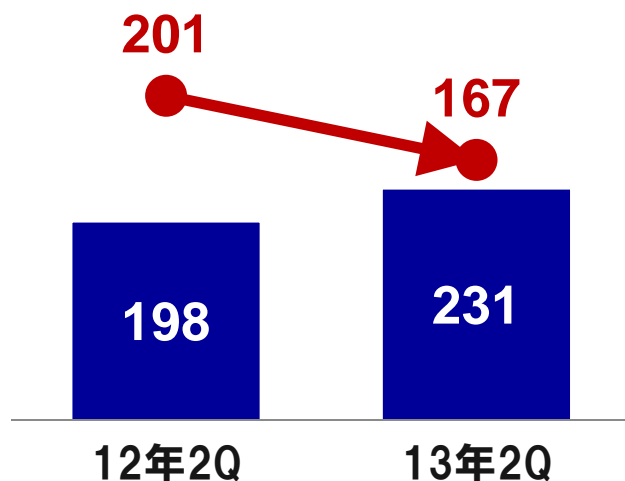
## タイ（TYM）



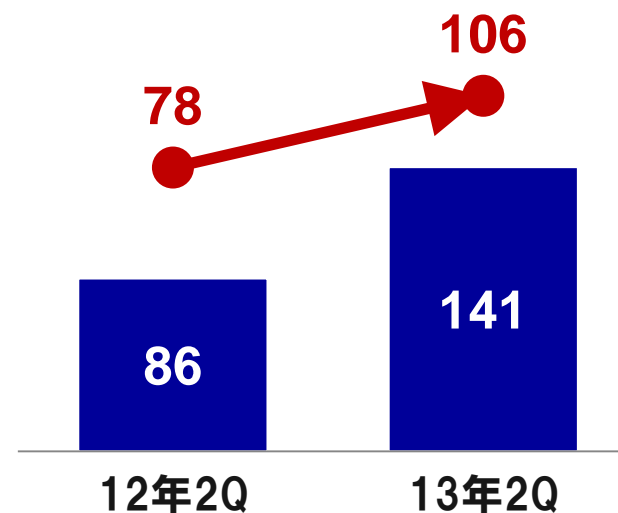
出荷台数  
(千台)

売上高  
(億円)

## ベトナム（YMVN）

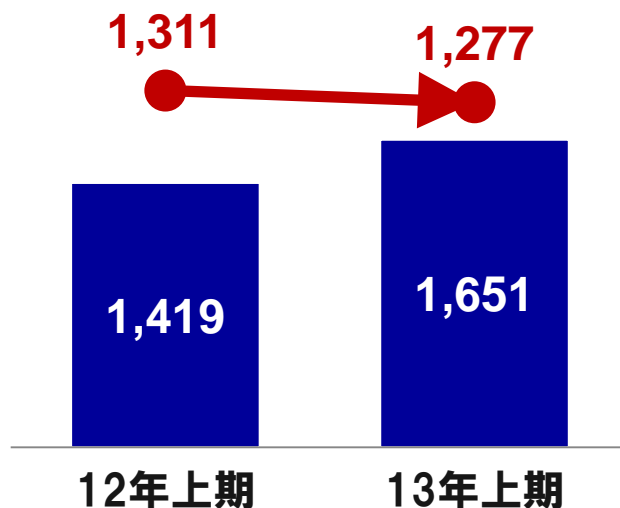


## インド（IYM）

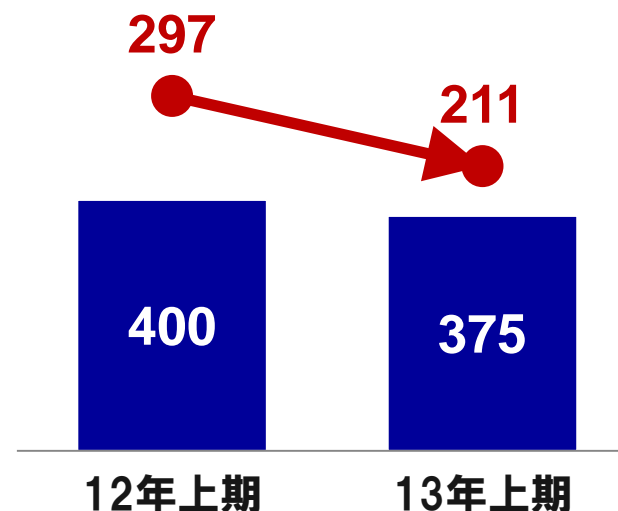


# 2013年（上期）アジア主要国 販売状況

## インドネシア (YIMM)



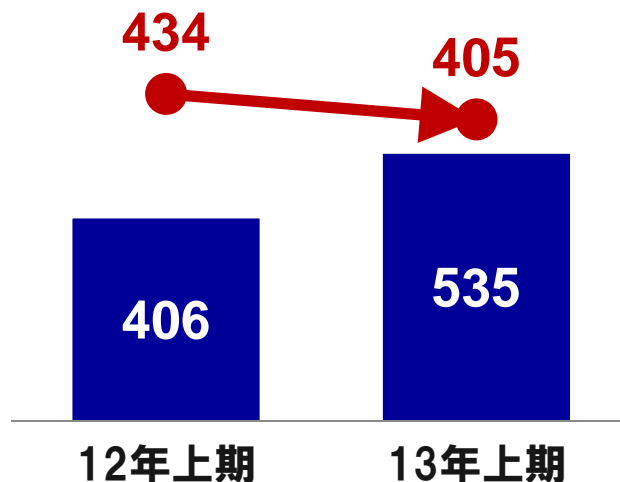
## タイ (TYM)



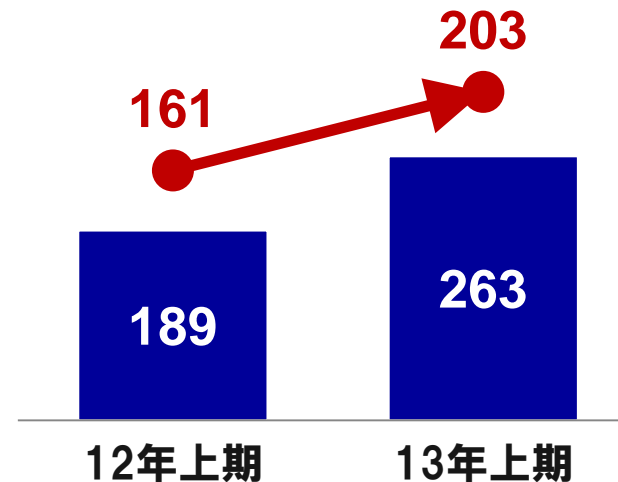
出荷台数  
(千台)

売上高  
(億円)

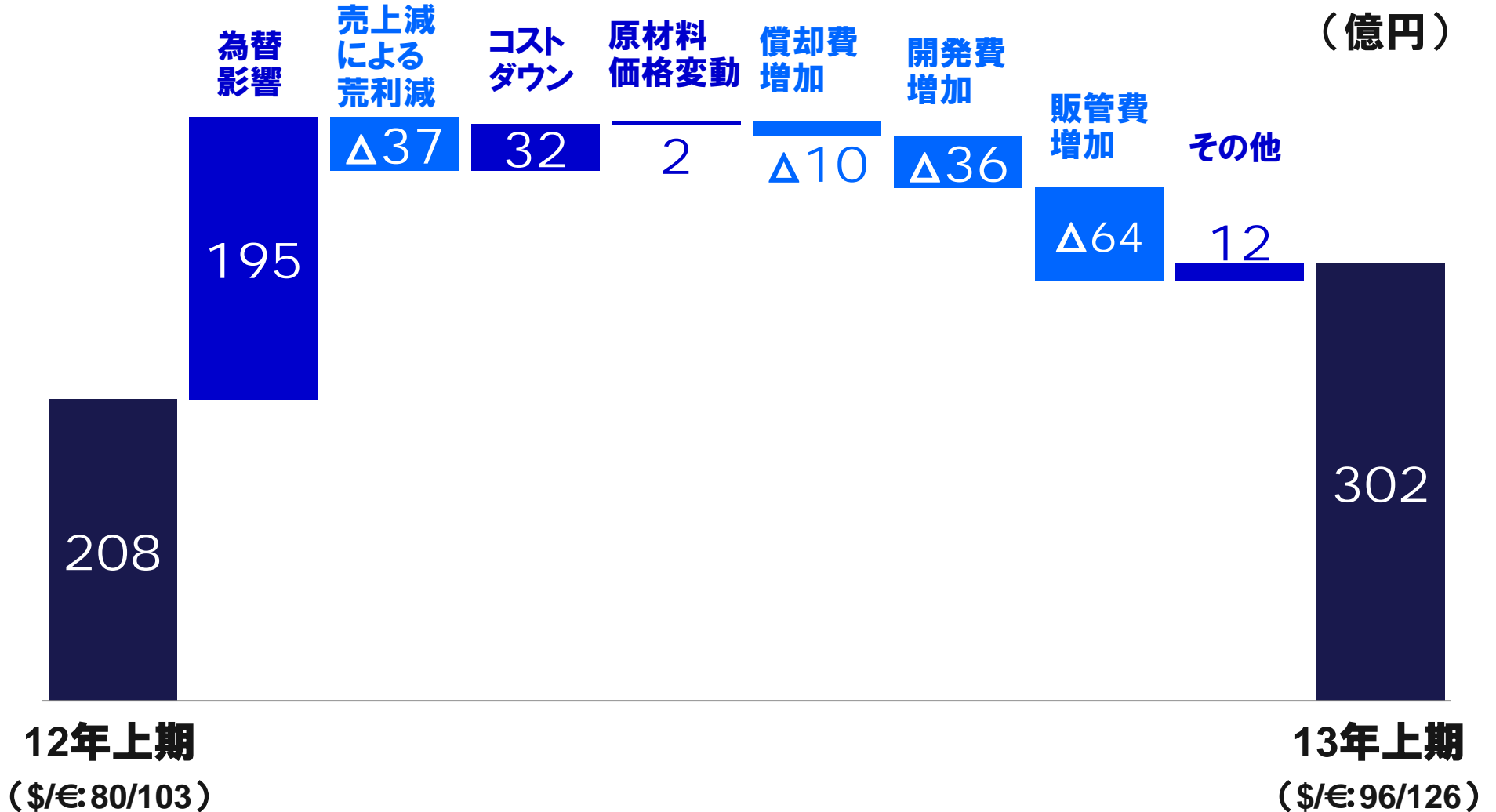
## ベトナム (YMVN)



## インド (IYM)



# 2013年（上期） 営業利益変化要因（対前年）



# 2013年（年間） 営業利益変化要因（対前年）

